https://www.ckuh-kobe.com/
Vol.1 2026年8月

幕末の海戦　瓦版

～由岐の伝説・阿波沖海戦

発行：神戸大学海洋文化遺産プロジェクト
幕末における海戦の研究チーム
ckuh.awaoki@outlook.jp
078-431-6375

壱　ごあいさつ

翔鳳丸終焉の地、由岐にて「市民科学」プロジェクトがスタートすることになりました。
「市民科学」とは、専門家だけに頼るのではなく、「市民」が主体となって調査・研究するボランティア活動です。今回、神戸大学海洋文化遺産プロジェクトという市民参加型プロジェクトのもと、全国から集まった市民5名が、ここ由岐で調査・研究をさせて頂くことになりました。
地域の皆様には何かとご協力を頂くこともあるかと思いますが、何卒、宜しくお願い申し上げます。

弐　「阿波沖海戦」って？

阿波沖海戦イメージ（AIによる生成）

戊辰戦争の戦闘の一つで、日本史上初の蒸気機関を装備した近代軍艦による海戦。
慶応4年1月4日（1868年1月28日）早朝、開陽丸（旧幕府）は神戸港から薩摩へ向かった春日丸（薩摩）、翔鳳丸（薩摩）を発見し追跡。
春日丸は開陽丸と砲撃戦となるも、両者に大きな損害はなし。春日丸は高速を活かして薩摩へ撤退。一方、航行不能となった翔鳳丸は、拿捕を免れる為に、ここ由岐の箆野島近くで自焼しました。
その壮絶な最期に対し、榎本武揚は「敵ながらあっぱれ」と賞賛の意を表したといいます。
（ウィキペディアより抜粋・要約）

参　現地調査に来ました！

ぽっぽマリンに翔鳳丸関連の遺物が複数展示されていました。

謎の遺物あり…これは一体…？！

「阿波沖海戦」
泉由幸（著）
由岐町教育委員会
1973年発行

【遺物とは】
遺跡から出土・発見された、過去の文化を示す物品のこと。
（デジタル大辞典より）

翔鳳丸の遺物がまだ水中に…？

佐々木蘭貞先生が、水中ドローンを持ってきてくれました！名前は、ヨシツグ君。ヨシツグ君に、海底を探索してもらいました♪

調査の様子

ヨシツグ君

今回の調査では、海底の様子はわかったものの、遺物等は見つからず…(^^;)
後日に持ち越しです。

～Column～由岐の海に眠る歴史

「綺麗な海だなぁ✨」

私が由岐に来た時の、第一印象です(^^)
今から150年以上前の幕末期も、変わらず美しかったことでしょう。当時の由岐の方々は、突然やってきた軍艦や、命からがら上陸してきた薩摩の武士たちを前に、一体どんな行動をとり、どんな会話を交わしたのでしょうか。
この瓦版では、調査の進捗や、新しくわかった面白い事実を、地元の皆様へ（不定期にはなりますが💦）お届けしていけたら、と思っています。この町に眠る素晴らしい歴史を、皆様と一緒に再発見していければ幸いです。これから約1年間、どうぞ宜しくお願い致します！（バタやん）

城山公園より

阿波沖海戦小公園